

おすすめの本

7
 がつごう
月号



<小学1・2年>



『モリスくんとオレンジいろのドレス』

クリスティーン・バルダチーノ作、イザベル・マランファン絵、まえざわ あきえ訳

せかいぶんかしゃ
世界文化社

モリスくんは、ママとねこのムーとくらしています。あるひ、がつごうのリサイクル・コーナーで、いちばんすきなオレンジいろのドレスを見つけました。ドレスをきて、あかいおしゃねなくつをはいて、こうていにでてみたら、みんなにからかれたのです。ベッキーには、「こんなのきちゃだめ!モリスはおとこでしょ!」といわれて…。

<小学3・4年>



『ぼくの影をさがして』

いいざわ こうたろうぶん、みにむぶらぶらえ
飯沢 耕太郎文, minim++ 絵

ふくいんかんしよてん
福音館書店

ある日とつぜん、影をなくしてしまった男の子。自分の影をさがして、本体のすがたがない、影ばかりの町へとまよいこみます。そこで、さまざまに形を変える影や、影絵遊びなど、魔法みたいにいろいろなことができる影とたのしい時間をすごした男の子は、いつもいっしょだった影の大切さに気づきます…。

<小学5・6年>



『屋根の上のソフィー』

キャサリン・ランデル作、佐藤 志敦訳

いわなみしよてん
岩波書店

19世紀末。難破船から助け出された赤ん坊はソフィーと名付けられ、学者のチャールズに引き取られた。その11年後。ロンドンで育ったソフィーは、母の記憶と形見のチェロケースを手がかりに、チャールズとともにパリへ向かう。そこで屋根の上を住処とする子どもたちと出会う…

<全学年>



『クラシック音楽への招待』

いいだ ありさちよ
飯田 有抄著

おんがくのともしゃ
音楽之友社

遠い昔にヨーロッパで生まれ、人々の間で長く愛されてきたクラシック音楽。どんな楽器があるの?作曲家はどんな人たちだったの?音楽はどんなところで演奏されてきたの?クラシック音楽の魅力を解説。クラシック音楽が生まれた国や都市、踊りとの関係も紹介します。

<小学1・2年>



『大ピンチずかん3』

鈴木 のりたけ作 小学館

「ゴミばこがやまもり」「あしがつちだらけ」…。よのなかのさまざまな大ピンチを、大ピンチレベルのおおきさと、しんきじくのうっかりメーターであらわし、レベルのちいさいものから、じゅんばんにしょうかい。大ピンチクイズや大ピンチをのりこえるほうほうなどものっています。



『モンスター・ホテルでおにごっこ』

かしわば さちこさく、たかばたけ じゅん え ことみねしよてん
柏葉 幸子作, 高昌 純絵 小峰書店

きょうは、モンスターたちがたのしみにしているくおにごっこたいかいのひ。モンスター・ホテルからみんなでバスにのって、かいじょうのこうえんにやってきました。みんな、ワクワク、ドキドキしています。いちばんドキドキしているのは、ことしはじめて、おにごっこたいかいにさんかする、ミイラおとこです。なぜさんかしたかという…。

<小学3・4年>



『ふしぎ駄菓子屋銭天堂3』

廣嶋 玲子作, jyajya絵 偕成社

幸運のお宝を持っていない人が、「銭天堂」にやってきました。「銭天堂」の招き猫たちはびっくり!こんなことは初めてだった。というより、まずありえないことなのだ。この店には強いまじないがかけられているのだから…。駄菓子屋を舞台にしたふしぎな話。



『新さんねんないきもの事典』

今泉 忠明監修, 下間 文恵ほか絵 高橋書店

くちばしがじゃまでミルクがのみにくいカモノハシ、うるさすぎて命を落とすキジ、自分では川にもどれないウナギ…。一生けんめいなのに、どこかさんねんないきものたちを、「動物」「鳥」「生物」にわけて紹介。どうしてそうなったか、進化のふしぎをイラストとともに説明します。

<小学5・6年>



『白い虹を投げる』

吉野 万理子作 黒須 高嶺絵 Gakken

同じ野球チームでがんばっていた、小学6年生のヤヤと葉央。ヤヤは転校してから新しいチームになじめず、残された葉央はメンバー不足で試合ができない。ふたりはメールを送り、たがいにはげまし合う。「キャッチボールクラシック」という大会を知り、ヤヤと葉央はそこで再会することを誓うが…。人と人の心をつなぐ物語。



『キミの一步アメリカ』

小手鞠 るい文, 酒井 以絵 あかね書房

異文化にふれ、多様性を知ることで、広がる新しい世界へ。キミの一步を応援する、みずみずしいエッセイ集。アメリカのニューヨーク州ウッドストックの森で暮らす作家が、身近な森や動物への愛情、夫との人間関係などを通じ、アメリカの現在形の姿と丁寧に暮らす美しさを伝える。